

中学校統合に関する協議内容について

教育委員会では、本年2月に、各小中学校の学校運営協議会に対して、中学校統合に関するアンケート調査結果の説明会を開催し、中学校統合に係る協議を始めております。この説明会で出された意見の中に「各学校運営協議会での協議の後に、素案を持ち寄り町全体で協議できる場を設定してほしい」との意見がありました。このため、各学校運営協議会において、他校の意見を聞く機会を設け、2学期以降の意見集約の参考としていただくため、合同の学校運営協議会を8月に開催しましたので、その概要をお知らせします。

1. 合同学校運営協議会の開催状況

8月28日(日)の午後、各学校運営協議会の会長、地域代表委員、保護者代表委員等の皆様方に集合いただきました、久賀総合センターにおいて開催しました。出席委員数合計34人で出席率81%でした。また、オプザーバーと



して各小中学校の校長先生に出席していただきました。

2. 合同学校運営協議会の概要

(1)各学校運営協議会から現在の検討状況発表

協議会では、まず、教育委員会からこれまでの経過の説明を行い、次に、各学校運営協議会に本年11月まで意見集約をお願いした7項目の内の3項目、「①校区の子どもたちが、どのような子どもたちに育って欲しいのか」「②町内全体の子どもたちが、どのような子どもたちに育って欲しいのか」「③育って欲しいと願うように、子どもたちが育つには、どのような中学校規模がよいのか。どのような学校規模がよいのか」について、各協議会から現在の検討状況の発

表が行われました。

この中では、どのような子どもたちに育って欲しいのかの項目については、「挨拶のできる子ども」「チャレンジ精神旺盛な子ども」「粘り強く努力する子ども」「人の痛みがわかる子ども」「故郷に愛着の持てる子ども」「ICTが使いこなせる子ども」など、各協議会において様々な意見が出されている状況が発表されました。

また、どのような中学校がよいのかとの問いには、「学校と保護者・地域と連携ができていく学校」「切磋琢磨し競争心が育てられる学校」「リーダー性が育てられる学校」「いじめがない、生徒同士が仲の良い明るい楽しい学校」「通学が便利なお学校」などの意見が出されました。

さらに、どのような規模の学校がよいのかとの問いに対しては、「クラス替えのできる学校」や部活の選択ができる学校等、統合による生徒数の増を求める意見とともに、「現状の小規模校でも、生徒が互いに切磋琢磨している」など、現状を評価する意見や、「スクールバスを活用による集合学習等の工夫によるデメリットの解消を求め」といった意見があることな



ども発表されました。

また、統合校数についても、1校案を支持する意見とともに、現状維持の4校や、2校または3校まで様々な意見があることや、1校案の校舎の位置についても久賀中のほか多様な意見が出されていることが発表されました。

(2)統合中学校の概要

この後、教育委員会からたき台(案)として示している、統合校舎を久賀中学校校舎と想定した場合の、生徒数・学級数・教職員体制・統合中学校の整備概要・整備に要する期間および統合年月日・部活動・学校運営協議会・通学時間・制服等の取り扱いなど9項目の統合中学校の概要について、教育委員会が作成した資料を基に説明しまし

た。

(3)グループ討議

次にグループ討議を行いました。この中では、各学校運営協議会の代表者を6つの班に分けて、各学校の意見を出し合っていたいただき、最後にグループごとの意見のまとめ役である教育委員会職員が、熟議の内容について発表し会を終了しました。

3. 今後の議論の進め方

各学校運営協議会において、残りの検討項目である「④中学校1校統合についてどのようなように考えるか」「⑤統合校舎を久賀中学校校舎に想定することについてどのようなように考えるか」「⑥統合時期はいつ頃がよいか」「⑦その他の提案」についても協議していただき、本年の11月までに7項目の意向調査票を、教育委員会に提出していただく予定にしています。

そして、提出された意向調査票を基に、教育委員会が中心となり町長や議会と協議しながら統合の進め方について検討してまいります。

■問い合わせ

教育委員会総務課

☎08220(78)0700